

キャリアセミナー（職業能力開発）

【テーマ】人と森を巡る常識の嘘を検証する

【日 時】平成 25 年 4 月 22 日

【講 師】田中淳夫さん（森林ジャーナリスト）

\*\*\*\*\*

【感 想】

●日本の森が増えているという事実が単純におどろきでした。逆に、どうしてこれほどまでに日本人の意識の中に「自然がどんどん減っている」「森林を守らないといけない」というイメージが植えつけられたのか不思議です。国益などを左右する駆け引きが背景にあるとも考えられますが、ジブリ映画でも自然破壊をテーマにしているので、やはり不思議です。山崩れの原因にしても、結局人工林の作り方がいけなかったのか？では、そのために、それを変えようとする人がいないのか？すごく疑問が多く残りました。

●日本で唯一人の森林ジャーナリストの方のお話を伺うことが出来て面白かったです。江戸 - 明治時代に木を切り続けて一番木がない時代だったとは知りませんでした。環境教育に興味がありますが、田中さんが学校等でこれからの将来を担う子供たちにどのようなメッセージをおくられるのか気になります。日本のことだけでなくグローバル化時代に生きる一人としてどのように現状を捉えるかが最も重要だと思いました。

●森林や林業に関する知識が全くない自分にとって、分かりやすく説明していただいて興味深かったです。森林の話ではあったがイメージで物事を安易に捉えるのではなく、それに対して疑問を投げる姿勢や、その結論が生まれる過程やメカニズムを見なければならぬということ、どの学問にも共通することだと思います。森林政策に関する質問をさせていただきましたが、日本の森林の現状を変えていくためには政策、政治が非常に重要なので、政策を専門に勉強していながら、いままで全然関わる事がなかった林業政策に興味を持ちました。

●ゴルフ場ができると森林破壊だというイメージで捉えていましたが、実際に数字で見ると、いかにあいまいで政治的な影響を受けているか、など様々なことが見えてくることを改めて知りました。勉強になりました。